

## 経済学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

経済学部は、本学が掲げる4つの基本理念（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）の下、社会科学的思考法を修得し、かつ、現代社会の諸問題を解決できる人材を育成することを教育目標としています。本学部の基本的な学問体系は、経済学と経営学から構成されます。学士課程において、①経済学・経営学の基本的知識・原理・理論を体系的に修得し、それらを基盤として自律的に知的活動を展開することができる、②社会科学的思考法に沿って様々な社会現象を分析し、定性および定量的手法を用いて因果メカニズムを明らかにすることができる、③社会、文化、国際関係の観点から経済・経営活動の役割と責任、倫理、理想像を論じることができる能力を持った人材を養成します。

学部では、これら目標とする人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）を経済学科・経営学科共通で定め、特に、当該能力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に学士（経済学）または学士（経営学）の学位を授与します。

## 経済学科および経営学科の学位授与水準

経済学科・経営学科では、経済学・経営学の基本的な概念枠組を学ぶだけでなく、現実の経済・経営活動の本質を把握するために経済学・経営学の応用領域・発展領域を修得します。経済学を学ぶことを通じて、市場経済がどのような働きをし、どのようにわれわれの生活を豊かにするか、また逆にどのような格差やひずみを生み出すのかを理解し、それを補う経済政策を適切に判断する能力を修得します。また、経営学を学ぶことを通じて、現代社会における組織（企業、政府、地方自治体、非営利組織など）の経営現象を分析し、組織管理の仕組み、組織構成員の対人相互関係などを解明するために必要な能力を修得します。

また、幅広い教養に加えて反省的実践家として生きるための思考を深める能力、地球市民としての責任や倫理観を身につけます。

経済学科・経営学科では、経済学部の教育目標に基づき、批判的な思考や論理的思考力をも備えた広範な分野で活躍できる人材を養成することを目標としており、以下の能力をもつと認められる学生に対し、学士の学位を授与します。

### **【知識・理解】**

- ・ 文化、社会、社会科学全般について幅広い知識を修得している。
- ・ 経済学および経営学について基礎知識を体系的に習得している。
- ・ 多様な進化を遂げてきた経済社会の歴史を理解している。
- ・ 経済・経営活動の基本となる概念枠組および分析ツールに精通し、それをもとに実際の社会現象（特に経済・経営活動）の背後にある複雑なメカニズムを想像できる。

- ・ 経済・経営活動の本質を捉え、実践的かつ妥当性の高い複数の解決案を示すことができる。

#### 【汎用的技能】

- ・ 日本語での論文作成能力、プレゼンテーション能力を身につけている。
- ・ 英語を用いて、多様な背景を持つ人材と意思疎通をすることができる。
- ・ 情報コミュニケーション技術の利用について高度な能力を身につけている。
- ・ 自らの意見を他者に正確に伝え、合意を形成することができる。
- ・ 他者のもつ多様な考え・視点を正確に把握し、建設的な議論を積み重ね、実践的かつ革新的な解決策を示すことができる。

#### 【態度・志向性】

- ・ 高度な知識をもとに、実践的な解を示すとともに、集団に率先して関与するリーダーシップ能力をも身につけている。
- ・ 地球社会の一員として、広い視野からの最適解を探索でき、自らの持つ知識を社会の問題解決に供することができる。
- ・ 自己の良心、社会の規範やルールに従って行動できる。
- ・ 卒業後もキャリアを通じて、行為から反省的に学び、自己研鑽を積むことができる。